

後期高齢者  
医療制度

# 保険料の負担 ズッシリ

先のばしせず、  
ただちに廃止を

日本共産党

「高齢者いじめの制度は、いますぐやめて」——これが圧倒的な国民世論です。ところが民主党政権は、「ただちに廃止」の公約をうらぎり、いまだにやめようとしません。国民の切実な願いを受けとめ、後期高齢者医療制度をただちに廃止すべきです。

今年度、**平均** 1300円増

廃止を一日のばすごとに被害はひろがります。31の都道府県で保険料が値上げされ、1人あたり平均で1300円。東京では、値上げ額が4000円を超え、8万8000円(1人あたり年間平均)もの負担となります。

戦後の日本社会をささえてきた高齢者に、これ以上、犠牲をしいることは、絶対に許せません。



国会で質問する小池あきら政策委員長  
=3月16日、参院厚生労働委

民主党政権が検討

## 差別医療を65歳までひろげる

後期高齢者医療制度の廃止を先のばし、「新制度」を検討するという民主党。しかも、その中身は65歳以上の国民を強制的に、別会計の制度におしこむというひどい内容です。

小池議員は、「これでは、うば捨て山の入山年齢を引き下げただけ。ただちに以前の老人保健制度にもどすべきだ」と強く要求しました。



国保料引き下げに全力をつくします

伊藤 岳

日本共産党国会議員団  
埼玉県事務所長  
(埼玉選挙区予定候補)